平成26年度 自己評価書

学 校 名	和歌山市立伏虎中学校
校長氏名	藤本禎男
作 成 日	平成27年3月10日

1 教育目標

活気に満ちた伏虎中学校 〜美しく、仲良く、静かで、活気ある学校〜

2 本年度の取組についての評価

開かれた学校 ゆたかな心 確かな学力 ・3小学校との連携をよりの一層密にして、小中の一層密にして、小中の工業を表す。 ・外部から指導者を招聘の生産の学力を表す。 ・全国や和歌山県の学力の表す。 重の時間」となるようできた。 徳の時間」となるようできた。 ・中学校3年生の約60年年の約60年年のの生徒が、英語検定の生徒が、英語検定の生徒が、英語検定の生徒が、英語検定の生徒が、英語検定のまた。 標のサーラを表す。 ・生徒会役員、保護者やの生徒が、英語検定の実力を身に、 ・生徒会役員、保護者やの生徒が、英語検定のまた。 アンドができた。 ・生徒会役員、保護者やの生徒が、英語検定のまた。 なることができた。 ・生徒会役員、保護者やのまた。 なることができた。 ・生徒会役員、保護者やのまた。 なることができた。 ・生徒会役員、保護者やのまた。 なることができた。 ・生徒会役員、保護者やのまた。 なることができた。 ・生徒会役員、保護者やのまた。				•
重 一貫教育校にむけ推進 点 することができた。 目 ・カナダのリッチモンド 標 市に訪問するなど、国 P 際交流事業の推進を図 し、生徒の心に響く「道 徳の時間」となるよう に授業力の向上を図る ことができた。 ことができた。 ・中学校3年生の約60 %の生徒が、英語検定 3級程度の実力を身に 対職員であいさつ運動 は、生徒会役員、保護者や 際交流事業の推進を図 ・生徒会役員、保護者や 教職員であいさつ運動 は付けることができた。 付けることができた。		開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
ることができた。	点目標	・3小学校との連携をより一層密にして、小中 一貫教育校にむけ推進 することができた。 ・カナダのリッチモンド 市に訪問するなど、国	・外部から指導者を招聘 し、生徒の心に響よう 他の時間」となるとう に授業力の向上を図 ことができた。 ・生徒会役員、保護者や 教職員であいさとができ を実施することができ	・全国や和歌山県の学力 調査で、優秀な結果を 残すことができた。 ・中学校3年生の約60 %の生徒が、英語検定 3級程度の実力を身に 付けることができた。 ・ノートづくりを徹底す

	・ 4 校交流会を開催する	・道徳の授業を大切にす	・2・3学年において、
取	とともに、児童・生徒	るとともに、中心発問	英語の授業を少人数で
組	の交流を様々な学校行	や板書などの方法を教	実施したことで、コミ
の	事で実施した。	員が学習できた。	ュニケーション能力が
状	・カナダのリッチモンド	・様々な学校行事を通じ	身に付いた。
況	市を訪問するなど、国	て、生徒に命の大切さ	・学習発表会で、プレゼ
D	際交流を深める中で、	を訴え続けることがで	ンテーションすること
	日本の良さを確認した。	きた。	で発表力が身に付いた。
取評	・小中一貫教育校の開校	・「道徳の時間」のさら	・基礎的・基本的な学習
組価	が2年後となり、4校	なる確保に務めるとと	内容の定着が不十分で
の結	の交流は深まっている	もに、授業力をアップ	ある生徒は各学年とも
成果	ものの、各教科等のカ	させる必要がある。	に数名いる。ことから、
果C	リキュラム編成や指導	・生徒会の役員はたいへ	放課後等でより一層下
ک	形態等をどのようにす	ん真面目に仕事をして	位層を少なくするよう
課	るかについての課題が	くれるが、もっと主体	な手立てが必要である。
題	残っている。	的に行動できるように	
		していきたい。	
次改	・平成29年度開校に向	・「道徳の時間」を大切	各教科ともに問題解決
年善	け、8月3日に4校合	にを合い言葉に、公開	型の授業やグループ学
度方	同の第1回現職教育を	授業などを実施し、3	習などを計画的に取り
に法	開催し、その後数回各	小学校の教員や保護者	入れていく。
向A	教科等で独自で開催す	に参観を呼びかける。	・英語の授業で少人数指
け	る予定である。	・生徒会役員に課題は何	導を維持し、コミュニ
て		か考えさせ、それを解	ケーション能力を高め
の		決させるようにする。	ていく。

3 その他の課題

- ・生徒数が少ないことから教員数も少なく、そうしたことから免許外の教科を指導しな くてはいけない状況にある。
- ・部活動においては、専門的に指導できる教員がいない部がある。
- ・外国語活動だけでなく他の教科での実施や、小学校から中学校へ教科指導ができるような体制をできるだけ早い段階で実施していきたい。